



## 会社説明会

タカラバイオ株式会社  
 代表取締役社長  
 仲尾 功一

2016年1月19日  
 東証マザーズ 4974

### 寶酒造(株) (現 宝ホールディングス(株)) の バイオ事業部門としてスタートしたタカラバイオ(株)

**<沿革>**

- 1967年 寶酒造(株) 中央研究所設立
- 2002年 タカラバイオ株式会社設立
- 2004年 東証マザーズ上場
- 2014年 遺伝子・細胞プロセッシングセンター稼働
- 2015年 新研究棟完成  
滋賀県草津市へ本社機能を移転

**<会社概要>**

- 設立 2002年4月1日
- 資本金 149億65百万円\*
- 代表取締役社長 仲尾 功一
- グループ従業員数 1,272名\*
- 本社 滋賀県草津市
- 主要株主 宝ホールディングス株式会社 (60.91%\*)

※2015年9月末現在



宝ホールディングス株式会社

宝酒造株式会社    宝ヘルスケア株式会社    タカラバイオ株式会社



新研究棟

遺伝子・細胞  
プロセッシングセンター



会社説明会
January 19, 2016
2 

## 技術基盤かつ収益基盤であるバイオ産業支援事業 世界中の研究者が、製品・サービスの顧客

1. 遺伝子を増幅するための酵素などの**研究用試薬**（1品目：数千円～数十万円）
2. 遺伝子を増幅・解析する装置などの**理化学機器**（1台：数百万円～数千万円）
3. 研究者（顧客）からサンプルを預かり、遺伝子解析や細胞加工などの作業を有償で行い、得られたデータを納品する**受託サービス**（1サービス：数十万円～数千万円～）



研究用試薬



PCR装置



遺伝子解析受託サービス



細胞加工受託サービス

会社説明会

January 19, 2016

3



## バイオテクノロジーの黎明期（1970年代）に バイオ産業支援事業をスタート

1979年

遺伝子工学研究に必須な試薬：  
制限酵素（7品目）国産初発売



2005年

米国 IBClonotech社 買収



2014年

スウェーデン Cellartis社 買収



2015年

アイテム数 約 7,000 種類



会社説明会

January 19, 2016

4



研究用試薬の基幹工場は、宝生物工程(大連)有限公司（1993年設立）  
価格競争力の高い製造体制を構築



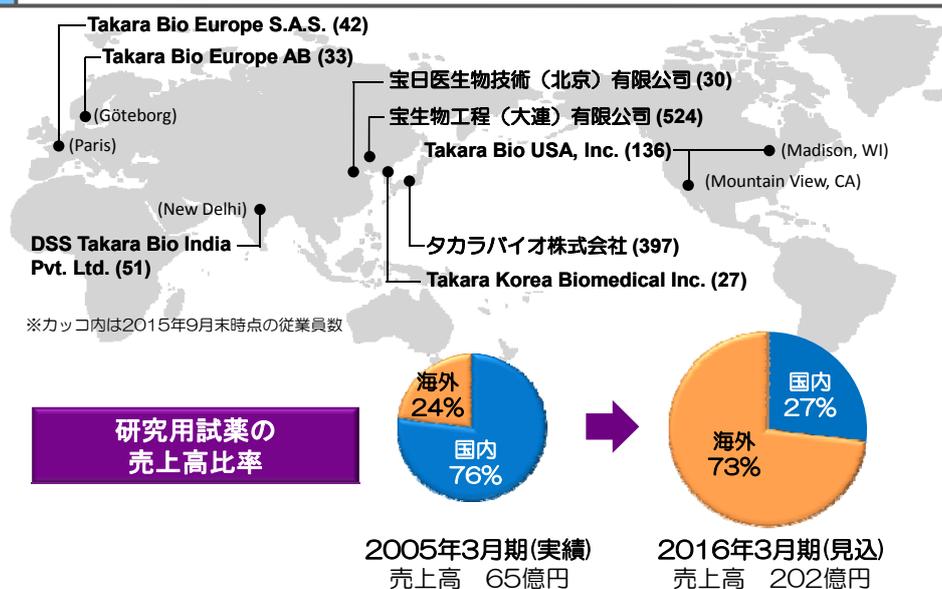
会社説明会

January 19, 2016

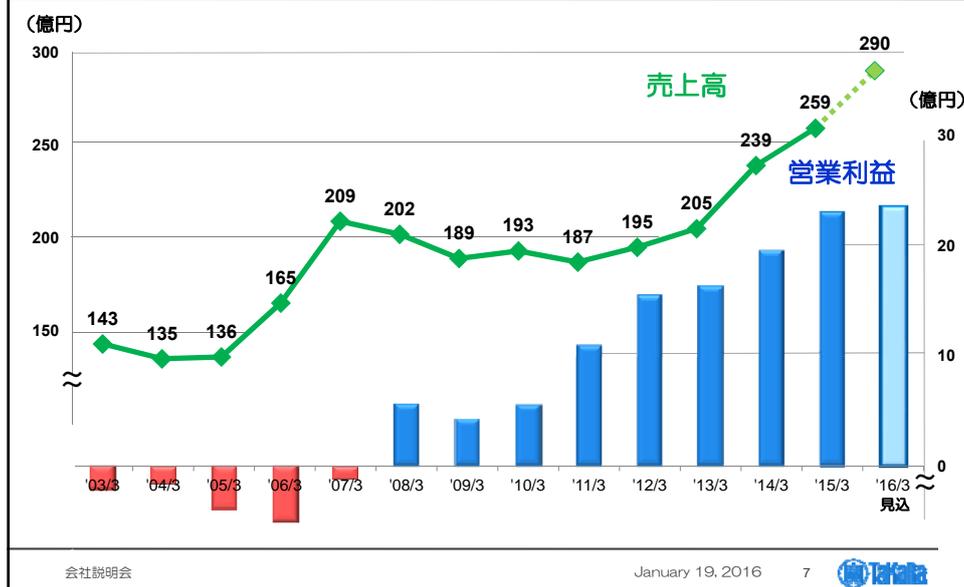
5



全世界に販売網を構築  
中国大連市に加え、インドへも製造・販売拠点を展開



## 設立当時の赤字体質を脱却 業績も安定し、過去最高益を更新中

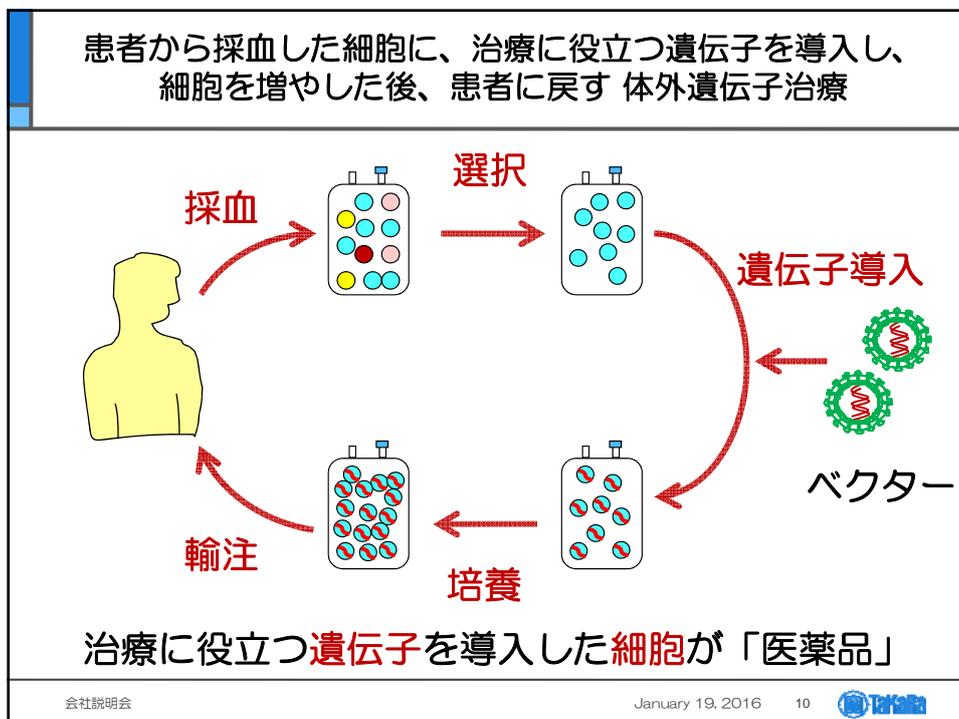
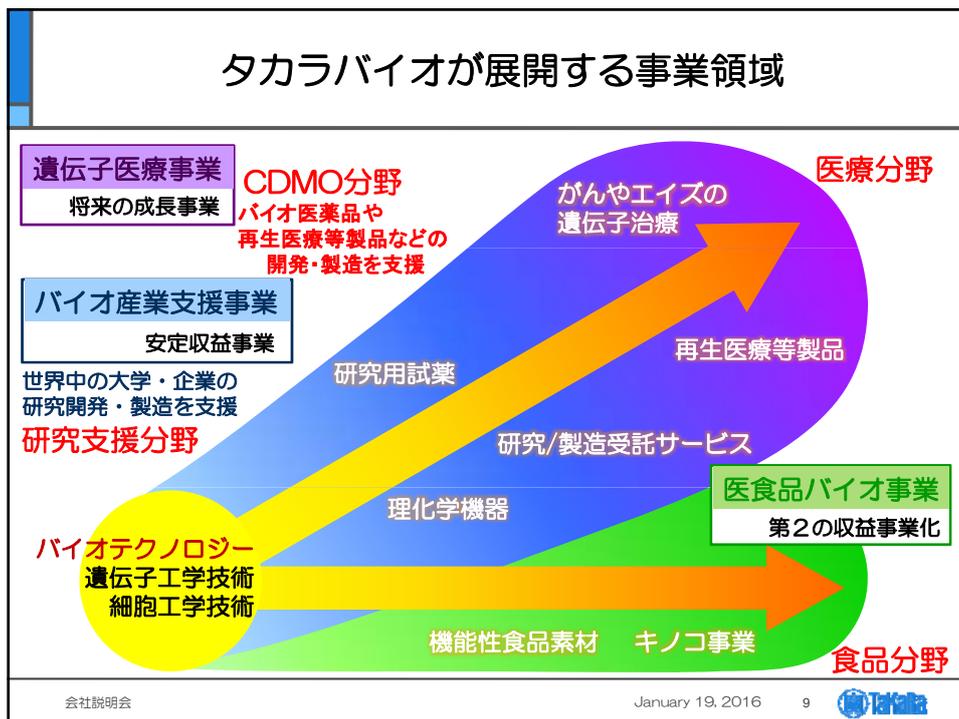


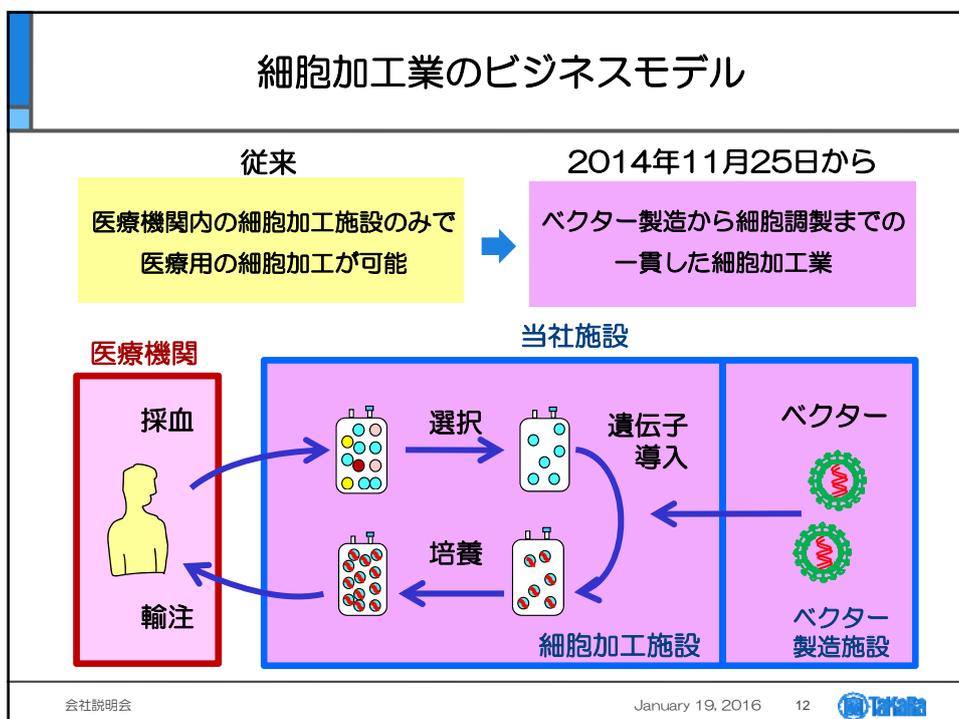
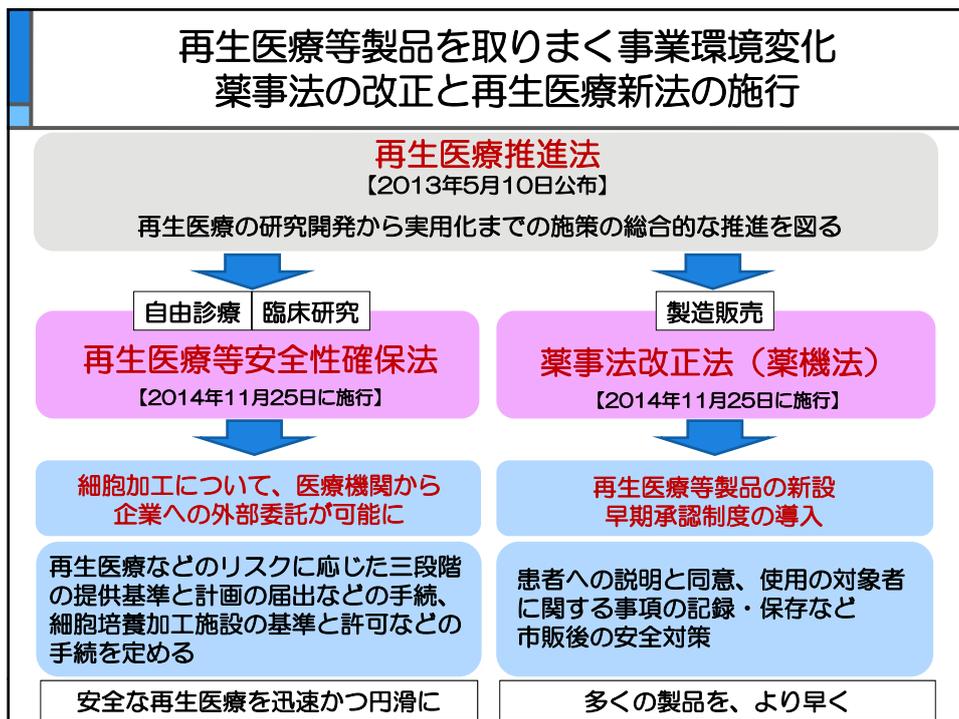
## 2016年3月期 連結通期業績 見込 5期連続増収・7期連続増益 (いずれも過去最高)

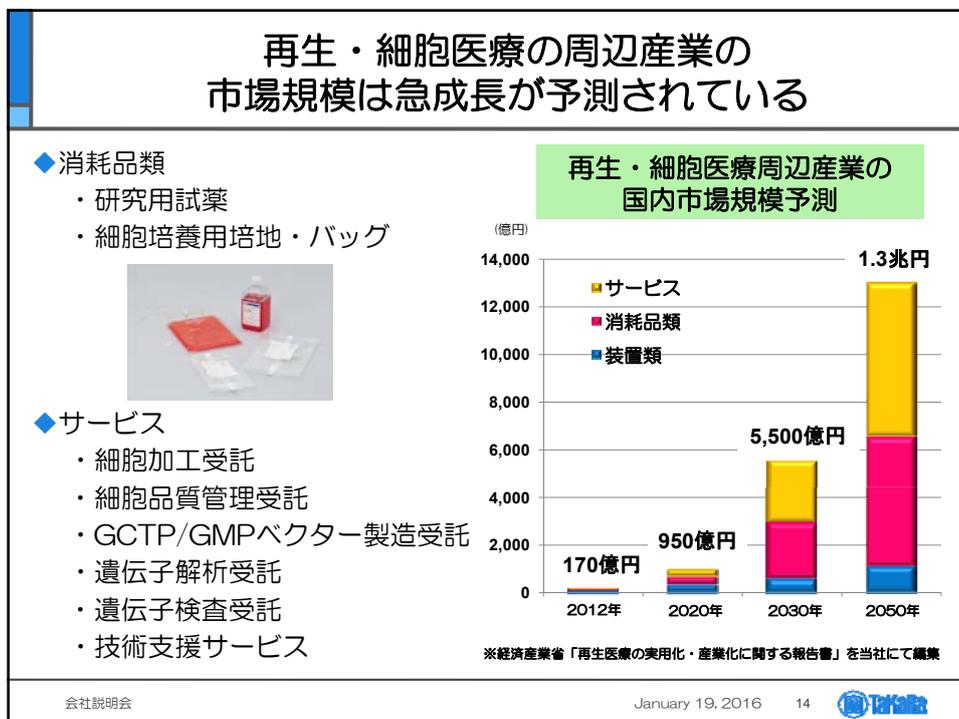
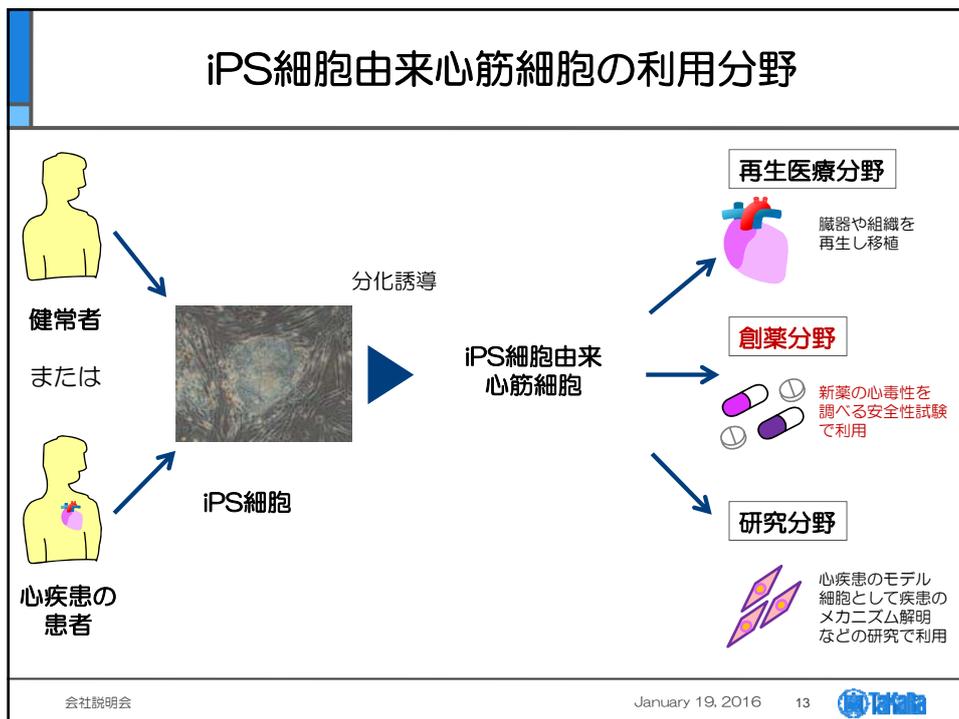
	16/03期	前期比
売上高	29,000	+3,030
売上原価	12,824	+682
売上総利益	16,175	+2,347
販売費及び一般管理費	13,825	+2,300
営業利益	2,350	+47
経常利益	2,800	+27
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500	+536
研究開発費	4,447	+1,046

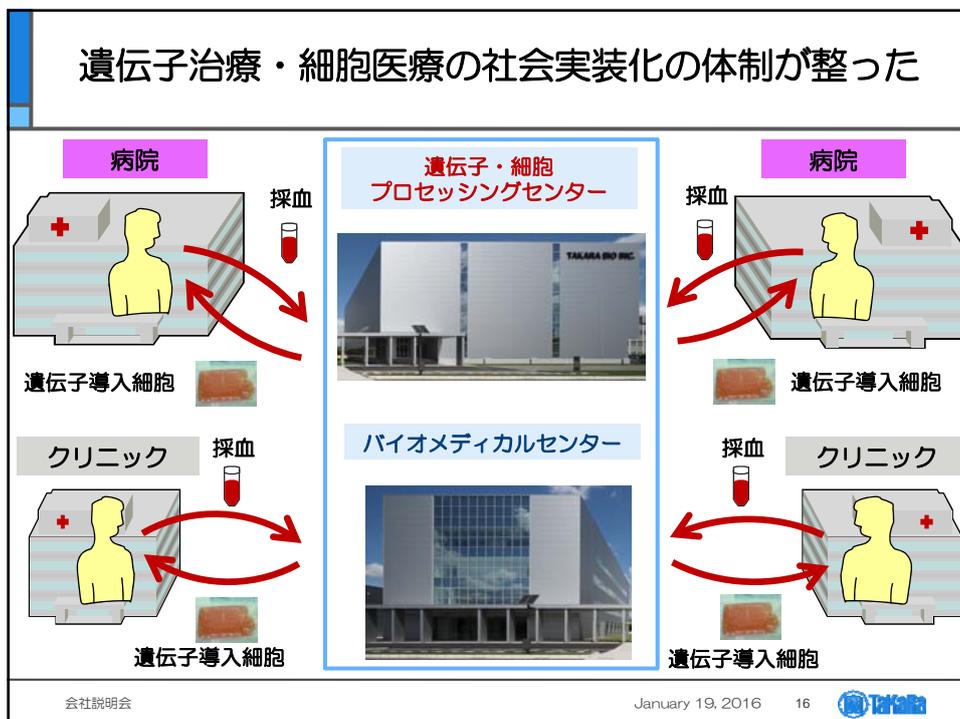
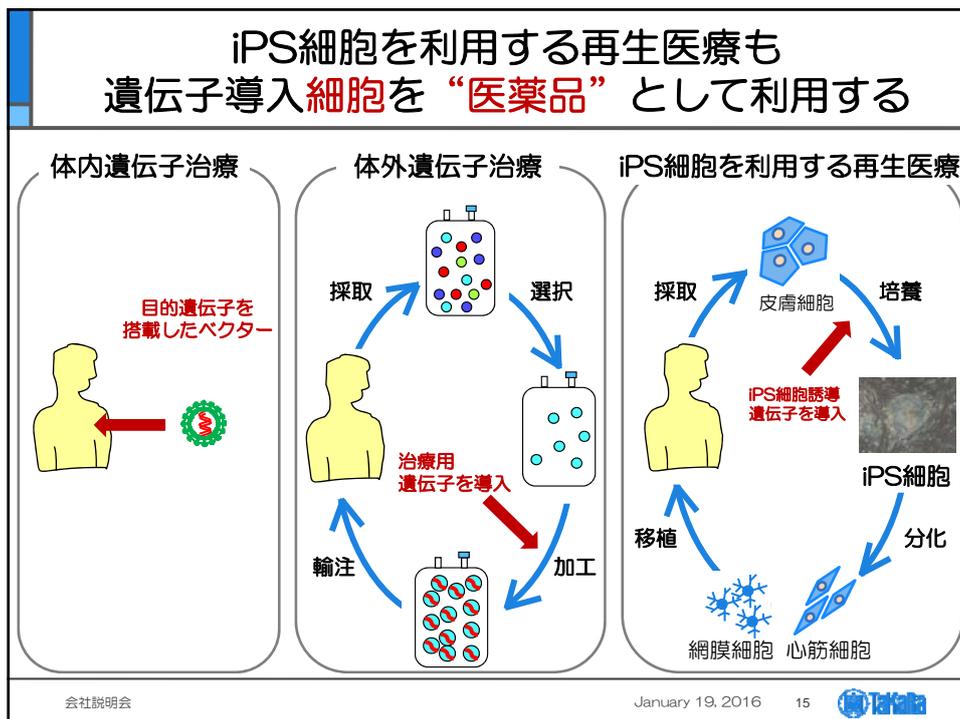
売上高内訳	16/03期
研究用試薬	20,259
理化学機器	2,706
受託	3,195
その他	438
バイオ産業支援	26,599
遺伝子医療	-
健康食品	895
キノコ	1,504
医食品バイオ	2,400
売上高合計	29,000

(単位：百万円)





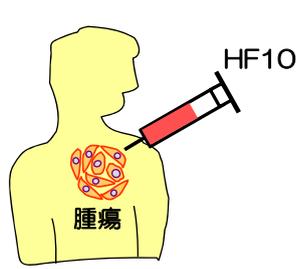




## タカラバイオは がんをターゲットにした遺伝子治療の臨床開発を推進

Oncolytic Virus  
(腫瘍溶解性ウイルス)

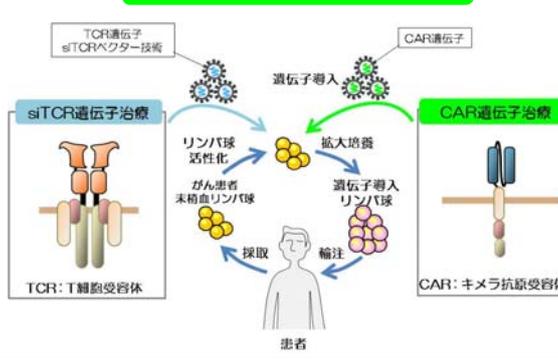
HF10プロジェクト



Engineered T cell Therapy  
(分子標的T細胞療法)

siTCR遺伝子治療プロジェクト

CAR遺伝子治療プロジェクト



会社説明会
January 19, 2016
17

## 遺伝子治療プロジェクトの臨床開発スケジュール

遺伝子治療プロジェクト		対象疾患	開発段階	日本における 検討適用制度	商業化 目標
Oncolytic Virus	HF10	メラノーマ など	Phase I (国内) ※ 平成27年度終了予定	・オーファンドラッグ制度 ・先駆け審査指定制度 ・条件及び期限付承認制度	平成 30年度
		メラノーマ	Phase II (米国) 平成28年度終了予定	----	
Engineered T cell Therapy	siTCR	MAGE-A4・ siTCR遺伝子治療	Phase I (国内) ※ (医師主導治験) 平成27年度終了予定	・先駆け審査指定制度 ・条件及び期限付承認制度	平成 33年度
		NY-ESO-1・ siTCR遺伝子治療	Phase I (国内) ※ (医師主導治験) 平成28年度終了予定	・オーファンドラッグ制度 ・先駆け審査指定制度 ・条件及び期限付承認制度	
	CAR	CD19・ CAR遺伝子治療	治験開始準備中(国内) 平成27年度開始予定	・オーファンドラッグ制度 ・条件及び期限付承認制度	
	MazF遺伝子治療	HIV感染症	Phase I (米国) 平成27年度終了予定	----	平成 34年度

※ 再生医療等製品としての治験

会社説明会
January 19, 2016
18

## 将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：事業開発部  
E-mail: [bio-ir@takara-bio.co.jp](mailto:bio-ir@takara-bio.co.jp)

